

コンプライアンス委員会の活動報告

コンプライアンス委員会が開催され、コンプライアンス活動の実施状況が報告されました。

記

1. 開催日と場所

平成25年1月28日（月） 川西倉庫本社 役員会議室

2. 出席者

コンプライアンス委員会委員長  
取締役、コンプライアンス・オフィサー11名  
監査役4名  
コンプライアンス委員会事務局長 計17名

3. 議事内容

- 1) 関税法等のうち、AEO制度に関する説明会を本社において実施し、セキュリティ確保や相互承認の現状とAEO制度の維持、管理、活用等について確認を行った。(11月21日 日本社)  
認定通関業者に係る特例委託輸入申告制度、輸出入に係る取引の関係書類を電子メールでやりとりした場合の保存期限等について確認を行った。(10月 阪神、京浜)  
また、保税業務説明会の資料をもとに、最近の税関行政、保税非違の概要等についての確認、許可保税蔵置場業務手順書をもとに、保税地域への入出構における受付台帳の管理や立入許可証を携行していない部外者への声かけ運動の励行等セキュリティ対策について各所にて再確認を行った。(10月～12月 阪神、名古屋、京浜)
- 2) 食品衛生法のうち、輸入手続きに関する各種制度について、食品等の輸入届出手続きにおける簡素化・迅速化、輸入届出書の記載方法等について講習を受けた。(10月11日 阪神)  
食品表示ラベルにおける賞味期限やアレルギー物質など表示事項について確認を行った。また、モニタリング検査における貨物の取扱いについて社内通知し、各所にて確認を行い徹底を図った。(10月～12月 阪神、名古屋、京浜)
- 3) 倉庫業法のうち、初任者に必要な倉庫業務知識を習得するよう倉庫業務研修（初級コース）に各所から参加し、倉庫業の役割、入出庫・保管業務、在庫管理、倉庫業法等について確認を行った。(10月17, 22, 29日 京浜)  
また、在庫証明書の発行時の注意点等についてや倉庫業法の手続き等について再確認を行った。(12月13日 阪神・26日 名古屋)
- 4) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律のうち、産業廃棄物講習会に各所より参加し、産業廃棄物の基礎知識、排出事業者責任、不適正処理と事件事例等について再確認を行った。(12月3日 阪神)
- 5) 監査室は、継続して業務の適法性などについて各課所の監査を実施している。リスク管理面からみて不適切な事案については、改善指導を行い、フォローアップも実施している。
- 6) 社内のコンプライアンス通報/相談窓口および弁護士事務所窓口（川西 CP ホットライン）への期間中の利用および通報はありません。

以上